

KEWPIE GROUP COMMUNICATION BOOK

キューピーグループ コミュニケーションブック

愛は食卓にある。

kewpie 



“キューピー”って会社、知ってる

?

「はい！」



「マヨネーズの会社ですね」

他には?

「うーん……」



「おいしさ、やさしさ」そして
キューピーグループならではの「ユニークさ」に磨きをかけ、
世界の食と健康に貢献するグループをめざします。

“キューピーグループ”の事業

食の分野を受け持つ企業として、おいしさと健康を追い求めて100年以上。常に「創意工夫」を重ねながら、私たちが心から打ち込むことのできる事業、キューピーグループの得意分野とも言うべき事業が広がっています。

今後もグループの理念を大切に共有し、創業以来受け継いできた品質第一主義を貫くとともに“キューピーグループならではの”こだわりある商品とサービスをお届けしていきます。

市販用



マヨネーズやドレッシング調理食品、惣菜など赤ちゃんからご高齢の方まで多様化するニーズに応えたおいしさとサービスを提供

業務用



レストランやホテル、給食などで使用される素材から加工品まで幅広い商品やメニュー開発で新しい食シーンや食のトレンドを創出

海外



日本で培った品質や提案力を活かして中国、東南アジア、北米、欧州など新しい食文化を創出し食と健康に貢献

フルーツ ソリューション



ジャムやスプレッドフルーツ加工品を通して磨いてきた原料調達力と加工技術でフルーツの世界を広げる

ファインケミカル



グループのユニークな素材や技術を活用し医療品、化粧品、食品原料など新しい機能性商品を生み出し世界の健康に貢献

“キューピーグループ”のこと
もっと知りたいときは



サステナビリティ



食育活動



各種報告書

持続可能な社会を次の世代につなぐために

世界で決めた目標、SDGs(エス ディー ジーズ)。
キユーピーグループは、行動しています。



「食を通じて社会に貢献したい」
キユーピー創始者の
この想いは、SDGsに通じるもの

1925年、キユーピーは日本で初めてマヨネーズを製造・販売しました。この栄養価の高い卵黄タイプのマヨネーズには、日本人の体格向上や食生活の充実など、創始者・中島董一郎の願いが込められていました。

世界をよくする目標として、国連でSDGsが定められた2015年より、はるか90年も前からキユーピーは「食を通じて社会に貢献」ということを実践していたのです。以来、創始者の想いを大切に、生活スタイルや環境、食への意識が変化していく中で、いつも食卓に新しい提案をしています。

高度成長期の1958年には日本初のドレッシングを発売するなど、時代に応じた野菜の新しい楽しみ方を発信し続け、今ではサラダとタマゴのリーディングカンパニーとして、幅広い年代の健康に貢献しています。

キユーピーグループは、食を担う事業活動にとどまらず、社会や地球環境への貢献に向けたさまざまな活動を行ってきました。これからも地球環境保全に積極的に取り組むとともに、食を通じて社会課題に真摯に向き合い、持続可能な社会を次世代につなげていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エス ディー ジーズ SDGs って、なに？

- 平和と地球の環境を守る17の目標です
- 2015年、国連に入っている全193カ国が賛成して決めました
- 国際社会共通の目標で、2030年までの達成をめざしています
- 国も企業も私たちが、行動することが求められています

もくじ

P.5	サラダとタマゴで健康的な食生活に貢献	2 食料を正しく 3 すべての人に健康と福祉を
P.7	子どもの心と体の健康を支え、未来の活躍を応援	2 食料を正しく 4 質の高い教育をみんなに
P.9	資源の有効活用…すてない・いかす	12 つくる責任 つかう責任
P.11	地球環境のために…へらす・かえる	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に 具体的な対策を
P.13	多様で多彩な従業員がいきいきと活躍人も会社も成長するグループに	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も



サラダとタマゴで健康的な食生活に貢献



生涯を通じて健康的な生活を送るための大切な要素として「栄養」「運動」「人とのつながり」があるとされています。生活が大きく変化している今、バランスのよい食事はその原点となるものでとくに良質なたんぱく質とビタミン、食物繊維の摂取は欠かせません。キューピーグループでは、そのためサラダとタマゴの研究を進めおいしく無理なく続けられる健康的な食生活をサポートしていきます。

野菜 食べていますか？

1日350gが摂れていない！

健康維持のために目標とされる野菜の摂取量は1日平均350gですが、実際の摂取量は280g。不足の70gは野菜サラダ1皿分に相当します。



栄養素に注目

ビタミンC、カリウム、食物繊維。これらはいずれも野菜に多く含まれ野菜から摂っている割合が多い栄養素です。

噛む力や適塩にも役立つ

食物繊維は、しっかり噛んで食べる習慣を促し、カリウムや食物繊維はナトリウムを体外に排出し適塩にもつながります。



●野菜で「腸活」！ サラダで「腸活」！

「腸活」として、キューピーが注目したのは「食物繊維」を摂ること。食物繊維の摂取源となる食品の内訳をみると、全体の36%を野菜類から摂取しており、野菜は食物繊維の主要な摂取源となっています。そこでキューピーでは、野菜をたっぷり使い、腸に食物繊維を届ける「腸活レシピ」を提案しています。



野菜+卵で見た目も栄養もおいしさもアップ！



卵 食べていますか？

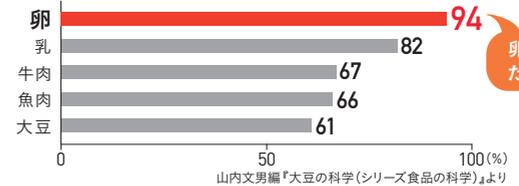
ほとんどすべての栄養素を含む優れたもの

卵には人間の体に必要な栄養素が、ビタミンCと食物繊維以外すべて含まれています。バランスのよい食事のために、卵は頼れる食品です。

良質なたんぱく質が手軽に

卵には体内で効率よく利用される良質なたんぱく質が含まれています。献立に卵を加えることで、手軽にたんぱく質が摂れます。

●体内でのたんぱく質利用効率



卵は良質なたんぱく源！

おいしくて飽きない卵メニュー

たんぱく質は一度に多く摂っても体内でうまく活用できません。アレンジ自在の卵だから、いろいろな料理で無理なくおいしく摂れるのです。

●たまごスター

社内認定制度「たまごスター」を2019年よりスタート。たまごスターは「三ツ星タマリエ」検定(日本卵業協会)に合格し、卵の知識を正しく伝えるための勉強会に参加することで認定されます。社内外問わず、卵の魅力伝える認知啓発活動を担っており、2021年より開始したオンライン「たまご教室」もその一つ。キューピーと卵の関係、日本人が卵好きであることや卵料理のコツなど、卵の魅力とチカラを伝えるコミュニケーション型プログラムです。



たまごスター 360人 (2021年9月末時点)



オンライン「たまご教室」



子どもの心と体の健康を支え、未来の活躍を応援



「食」には栄養面だけではなく健全な心を育むすばらしい力があります。人が集う食卓は、体の健康も豊かな心も養い育ててくれる大切な場所。キューピーグループでは食べることの大切さや楽しさを伝えるため、オンラインでの工場見学やマヨネーズ教室、食育イベントなど子どもたちが参加しやすい環境づくりを広げています。食を通じて未来につながる子どもたちの生きる力、考える力を支援していきます。



マヨネーズ教室

全国の小学生を対象に
2002年から実施の出前授業
「マヨスター」と一緒に体験

食の大切さと楽しさを伝えることを目的に「マヨスター」が全国の小学校を訪れます。マヨネーズのひみつや野菜を摂ることの大切さについて学び、マヨネーズの手づくり体験をします。全国を対象にオンラインでの実施を開始しました。

●マヨスター

社内認定制度「マヨスター」が始まったのは、2013年。マヨスターの資格を取得したキューピーグループの従業員が教室の運営から講師までを務めます。



マヨスター 259人
(2021年9月末時点)

参加児童数
累計 10万人を達成!
(2019年10月17日)

マヨテラス (見学施設)

マヨネーズのなるほどを
体感する施設
オンライン見学も実施



マヨテラスは、キューピー マヨネーズにまつわるさまざまな情報やトピックを体感しながら学べる見学施設です。現在は幅広い世代に向け参加型オンライン見学を実施。外出が難しい方や海外に住んでいる方など、今まで来場できなかったお客さまも参加でき、オンラインならではの広がりを見せています。



マヨテラス

オープンキッチン (工場見学)

子どもにも大人にも大人気!
製造の様子が
間近に見られます



キューピーでは「工場は家庭の台所の延長」と考え、工場見学のことを「オープンキッチン」と呼んでいます。1961年、小学校の社会科見学がきっかけでスタートしました。

工場別オンラインコンテンツ!



マヨネーズのひみつ、子ども向け料理教室、野菜や卵の魅力、健康とのかかわり、離乳食教室、社会科見学等、10種類以上の内容を用意。コースは随時追加進化させています。オンライン見学でも双方のコミュニケーションを大切にしています。



オープンキッチン



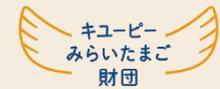
海外での食育活動

中国、東南アジアで
地域に根づいた活動を

国内だけではなく、海外のグループ各社でも、その地域の「食と健康」に貢献することをめざし、野菜の摂取向上のため、さまざまな食育活動を展開しています。



小学生向け
野菜サンドイッチ教室
野菜摂取を通じて肥満児童を減らす活動 (マレーシア)



累計助成団体数
350団体
(2017年度～2021年度)

「食」を通した貢献活動 キューピーみらいたまご財団

想いを共有しうる団体の活動を広く支援することで、一企業だけでは成し得ない社会貢献につなげていきたいという想いから、2017年にキューピーが設立した財団。助成対象は食育活動および食を通した居場所づくりに取り組む団体です。この活動が内閣府から認められ、2019年4月に公益財団法人になりました。

新型コロナ禍支援

感染症拡大の影響でこれまで以上に生活困窮に陥っている子どもたちを支えようとしている「居場所づくり支援」の活動団体があります。財団ではこれらの団体へ「新型コロナ禍特別対応」の緊急助成を実施。また2020年の年末には全国食支援活動協力会のネットワークを通じて、534カ所の子ども食堂にキューピー商品をお届けしました。



キューピー
みらいたまご財団



資源の有効活用…すてない・いかす

捨てるしかなかった卵の殻を土壌改良材にして農家に販売したのが1956年。
これが「もったいないをカタチにしてい」、「
キューピーグループの「資源をいかす」の始まりでした。

卵には捨てるどころがありません！

日本の卵の約10%を扱うキューピーグループ
だからこそできる有効活用。

年間約2万8千トン

卵殻

- 土壌改良材 (肥料)
- 食品原料 (カルシウム強化剤)

卵の殻は米を強くし、ヒトの骨も強くする！

水田に卵殻粉を肥料としてまくと米の品位が向上し、さらに、猛暑などの天候不順による影響を抑え収量が維持できることが証明されました。(キューピーと東京農工大学の共同研究/特許出願中)

また、卵殻カルシウムがヒトの骨量を増加させることから、ベトナムでは卵殻を活用した栄養強化食品で子どもの体格向上と高齢者の骨粗しょう症の課題解決に取り組んでいます。

卵殻膜

- 化粧品原料 (美白作用・肌のハリ改善)

卵白

- スポンジケーキ、マシュマロ等 (起泡性…ふわふわ食感に)
- かまぼこ、ハム等 (熱凝固性…弾力をもたせる)

卵黄

- マヨネーズ (乳化性…酢と油が混ざり合い、なめらかに)
- カステラ、クリーム類等 (色調…食欲をそそる鮮やかな黄色に)

グリーン文字 = 主な使用商品例

日本でキューピーグループが扱う卵は

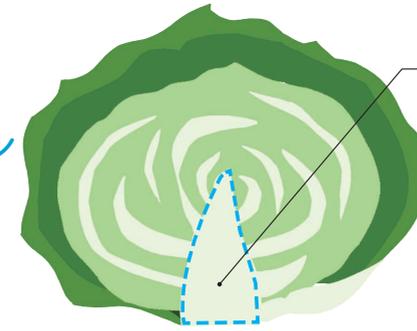
1年で約 **25万トン**

日本の年間生産量の約10%!
数にしたら約42億個!
つなげたら25万km!
地球6周分!

野菜の未利用部も有効活用！

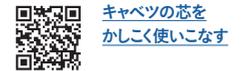
野菜を使ったサラダや惣菜を製造・販売するキューピーグループでは
野菜の再資源化についても、さまざまな取り組みを行っています。

キューピーグループの
キャベツの使用量は日本一!
1年で約 **4万2千トン**
1日に約115トン!
数にしたら約8万玉!



芯 全体の約10%

芯は甘くて、おいしい。
食物繊維は葉の約1.5倍!
食べずに捨てたら
もったいない。



調達から消費までの過程で「食品ロス」が発生



三方よし!

- 酪農家
安価・安定な飼料
- 地球環境
廃棄物の削減
- 国
飼料自給率のアップ

野菜の未利用部を乳牛用の飼料に!

カット野菜の製造工程で発生するキャベツ・レタスの未利用部(外葉や芯など)の乳牛用飼料化に成功し、「ベジレージ®」という商品名で酪農家に販売しています。国産の野菜を使った飼料は安全・安心な上に、乳牛が好んでよく食べ、乳量も増加することが証明されています。

(平成30年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰「内閣総理大臣賞」受賞)

「野菜廃棄物ゼロ」を達成!

株式会社サラダクラブの遠州工場(静岡県)では、野菜の未利用部の完全飼料化・肥料化に成功。酪農家と契約農家に売却し、有効活用しています。2021年度中に全直営7工場の野菜廃棄物ゼロ化をめざします。

容器包装に「再生プラスチック」を採用し、環境に配慮



「キューピードレッシング スティックタイプ」の外装に、再生プラスチック*を約15%使用しています。これによって石油由来の原料やCO₂の排出量を削減することができます。



「プラスチック・スマート」キャンペーン(環境省)に参加しています。

*再生プラスチック: 使用済みPETボトルを高品質に再生したプラスチック

「食品ロス削減」に貢献

フードバンク活動を支援

フードバンク活動*を行う「認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン」を2007年から支援し、キューピーグループの商品を寄贈しています。2020年度は各地域のフードバンク17団体に寄贈しました。

*フードバンク活動: 食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、児童養護施設などの福祉施設や生活困窮者へ無償で提供する活動

「賞味期間延長」と「賞味期限の年月表示化」

キューピーグループでは、商品の製法や容器包装を改良することで賞味期間の延長をしています。さらに賞味期限を「年月日表示」から「年月表示」へ切り替えることで、流通・消費期間を延長するなど、食品ロスの削減に取り組んでいます。



地球環境のために…へらす・かえる



地球温暖化、大気汚染、土や水の汚染にゴミ問題…。

地球環境を守るために、一人ひとりが身近に考え

この課題に取り組まなければなりません。

キューピーグループでは、多くの資源を活用して

人々の暮らしを支えるさまざまな商品やサービスを提供しています。

限られた資源を大切に使い、原料の調達、製造からお客様の使用にいたるまで、

そこに関わる人々と協力し、環境負荷の低減に努めています。

地球環境にやさしい輸送を

「モーダルシフト」による輸送

500kmを超える長距離輸送には、トラックから環境負荷が少ない船や鉄道を利用する「モーダルシフト」を推進。環境にやさしい企業として、2019年「エコレールマーク」の認定を受けました。



船のCO₂の排出量
トラックの1/6

鉄道のCO₂の排出量
トラックの1/11

異業種3社が手を組んで輸送

2018年から異業種3社が共同で、トレーラーを共用した船での定期輸送を開始。この取り組みにより、車両の有効活用、ドライバーの労働環境を改善、CO₂排出量の低減に大きな効果をあげています。平成30年度グリーン物流パートナーシップ会議「国土交通大臣表彰」を受賞しました。

- 省エネルギーの推進
- CO₂排出量の削減
- 原料・資材の梱包形態の見直し
- 環境に配慮した原料の調達
- 節水による取水量の削減

- 省エネルギーの推進
- 再生可能エネルギーの活用
- CO₂排出量の削減
- プラスチックの削減
- 廃棄物の削減と再資源化の推進
- 水資源の効率の活用

●輸送の効率化



多様で多彩な従業員がいきいきと活躍 人も会社も成長するグループに



「サラダとタマゴで世界の食と健康に貢献する」
グループが掲げる目標の実現に向け、一人ひとりが強みを伸ばし、
持てる力を発揮していく。これがキューピーグループのダイバーシティです。
すべての従業員が活躍できるよう、働きやすさや能力の向上をサポートし、
人と会社が成長し、社会に貢献できる企業をめざしています。

グループ従業員一人ひとりの 能力の発揮に向けて

従業員が自身の個性や強みを理解し、自分らしさを活かして働くための風土づくりに取り組んでいます。例えば、管理職を対象とした「ダイバーシティの必要性」や「人材育成」についての意見交換会を行っており、2020年度は組織の垣根を越えたグループ分けで約50回実施しました。また、女性がより働きやすく能力を發揮できるよう、家庭と仕事の両立に配慮した働き方や支援制度を導入。男性の育児休暇取得も推奨しています。グループの女性管理職による勉強会やネットワークづくりも進めています。

フレキシブルな働き方で実現する 生産性向上とワークライフバランス

リモートワークやフレックスタイムの活用で新たな働き方への取り組みを加速。オンラインやITツールを使った学びの場も拡充し、効率化による生産性の向上と個々の最適なワークライフバランスの実現を支援しています。



テレワーク：
勤務場所や時間にとらわれず
柔軟に働く従業員

テレビ会議：
離れた場所でもリアルタイムでの
コミュニケーションが可能

グループ従業員の健康を 「食と運動」でサポート

グループ従業員の健康維持・増進を「食と運動」でサポートしています。2020年度はテレワーク中の「心と体の健康」のためトレーニング動画の配信を開始。仙川キューポートの社員食堂での取り組みは「健康な食事・食環境」認証制度で最高ランクの「3つ星」認証を受けました。



自宅で運動：
気分転換も兼ねて
気兼ねなく体を動かす

社員食堂の「見える化」：
レジ精算時に摂取した野菜量、
カロリーや塩分を表示

「こうしたい!」という想いを実現できる “Kewpie Startup Program”

新たな挑戦を生み出す風土づくりを積極的に行い、従業員のアイデア実現と新規事業の創出をめざす社内公募制度「Kewpie Startup Program」を設けています。従業員考案の新規ビジネスである「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」は2022年の開業を予定しています。



野菜の魅力を体験できる複合型施設
「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」(イメージ)

障がい者が生きがいを 実感できる職場で個々の力を発揮

障がいのある従業員が十分に力を発揮し、働く喜びを実感できる職場環境づくりを推進しています。グループ各地の工場における積極的な障がい者雇用をはじめとして、株式会社キューピーあい(特例子会社)では、従業員が個々の得意分野で力を発揮できるよう、多岐にわたる業務を展開しています。



キューピーあい 塩田大樹：
視覚障がい者として日常生活を語ることで、
障がい者への理解を深め、共存できる町づくりに貢献できるよう
小学生を前に講義

キューピーグループ オフィシャルブログ

キューピーグループの従業員が
社会や環境について
想いとともに取り組みを紹介しています。



オフィシャルブログ

キューピーグループ オフィシャルブログ

従業員より、社会・環境への取り組みを
発信しています。



この「コミュニケーションブック」の
ご意見、ご感想をお聞かせください。



ここから
アクセスしてね!



アンケート